

スペシャルインタビュー

平成28年4月14日以降に熊本県を中心に発生した地震で、亡くなられた方々のご冥福をお祈り申し上げますとともに、被害にあわれた方々に、心よりお見舞い申し上げます。

【防災と心のケア ～防災教育による安心感～】 兵庫県立松陽高等学校 震災学校支援チームEARTH 諏訪清二先生



諏訪清二先生は、日本での防災教育の積み重ねと、スリランカ（インド洋大津波）や中国（四川大地震、芦山地震）の被災地でも、防災教育と心のケアを癒合したプログラムに取り組んでこられました。“防災教育で、トータルに安心感を伝えることができる”ネパール地震被災地での防災教育の実践をもとに、3つのメッセージをいただきました。

1. 地震時こそ、考え、判断し、柔軟な行動が大切

- ・地震時、余震時に自分がどこにいるかを考えて、今いる場所の安全性を瞬時に判断し、柔軟な行動を取りましょう。
- ・外にいたら、そのまま外にいて、何も落ちてこない場所で身の安全を確保してください。
- ・室内にいて強い建物なら、その中にいて、安全な場所で身を守ってください。



“安全な場所”とは？

「落ちてくるから危ない」「倒れるから危ない」「割れるから危ない」の“3つの危ない”を考えて瞬時に判断してください。心配な方は日ごろから室内をぐるっと見渡して、安全な場所を確認する癖をつけると良いでしょう。

- ・室内にいて、建物が脆弱なら、すぐに外に出てください。

2. 災害時のストレス反応は普通の反応

- ・災害の後、余震を怖がったり、眠れなくなったり、不安になったり…といった反応は、普通ではない状況での普通の反応です。“安心していいよ”というメッセージです。呼吸法などのリラクゼーション法を取り入れることもいいでしょう。

3. 強い家、強い学校の校舎があれば安心

- ・ネパールで、お菓子のパックを使った工作で、強い家を考えてもらいました。子どもたちはいろんな工夫をして、お菓子パックの家を補強していました。これは、子どもたちの心に、「強い家、耐震化された家が大切だ」というメッセージを残します。

熊本地震子ども支援

【募金を届けました】

- ◆ 平成28年5月2日、熊本県南阿蘇村立南阿蘇中学校に、募金30万円を届けました。
- ◆ 南阿蘇中学校に統合される前の“久木野中学校”は、ぼうさい甲子園の応募校です。
- ◆ 今回の募金は、南阿蘇村教育委員会を通じ、子どもたちのために活用されます。



南阿蘇中学校の先生方から、募金のお礼と『がんばってます』のメッセージをいただきました

お知らせ

◆熊本地震子ども支援◆

平成28年5月16日時点で、108万4,203円の募金をお預かりしました。ありがとうございます。引き続き、みなさまのご理解・ご協力をよろしくお願いいたします。詳しくはHPをご覧ください。

◆子ども防災実施予定◆

- ・6/3-4：防災体験学習
－福岡県横代小中学校
- ・6/15：出前授業
－兵庫県立舞子高等学校

【子ども支援のプロジェクトを立ち上げました】

熊本地震の発生を受け、『平成28年熊本地震“あそ冒！まな望！防災プロジェクト”』を立ち上げました。現地では、度重なる地震の影響で、子どもたちの不安や恐怖が高まっています。子どもたちの居場所づくり、心のケアと今後の余震対応などの防災教育、そして地域コミュニティへの主体的な関わりを応援することにより、自己肯定感の醸成を総合的に進めるプロジェクトです。“1.17防災未来賞「ぼうさい甲子園」”の応募校、防災教育応援リーダーを中心に、全国で支援の輪が広がっています。たくさんのご協力、ありがとうございます。

【プロジェクト内容】

1. 居場所づくり支援

学校・学童再開の支援等
2. 教員むけ研修会
過去の経験を語り継ぎつなぐ



3. 保護者むけ

語り合いの会
親の気持ちをわかちあい、子どもへの関わりについて理解する



4. 子どもへの心のケア、防災教育プログラムの提供



5. 子どもたちが地域コミュニティや避難所運営に関わり、自分のオモイや夢を取り戻し、描き直す機会の提供



連絡先

〒663-8201
西宮市田代町16-8
パルティーレN棟 西号室
0798-64-5829
<http://npo-sakura.net/>



*熊本地震支援、防災教育等の活動報告を発信中